

## (1) 人が集まるまちづくりの取り組み

目標	空き家・空き地の適切な管理を促進し、その活用等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、「枚方市空家等対策計画」を策定し、空き家等対策に取り組みます。また、市外に住む子育て世帯や若年夫婦世帯が、市内在住の親世帯と同居・近居するための住宅リフォームまたは住宅購入に対する助成や、マイホーム借上げ制度の周知・普及により、高齢者の持ち家を子育て世帯等へ転貸することで空き家化を防ぐとともに、若年世代の市内転入など定住促進を図ります。
取り組み	枚方市空家等対策計画については、枚方市空家等対策協議会の意見を聴きながら策定を進めるとともに、空き家等の有効活用に向けた取り組みを推進するため、空き家所有者に対し活用などについて意向調査を行い、所有者と自治会など地域の公共的課題の解決に取り組む団体等とのマッチングなどを行います。 三世代家族・定住促進事業については、同居のための持ち家のリフォーム費用や同居・近居のための住宅取得費用に対して助成を行います。また、高齢者世帯や子育て世帯等が、それぞれの生活に合った住宅への住みかえを支援するため、関係機関等との連携により、マイホーム借上げ制度の周知・普及に努めます。
	平成 29 年度当初予算：5,040 千円【空き家・空き地対策推進事業関連】、12,720 千円【三世代家族・定住促進事業関連】

9 月末の  
進捗状況  
【〇】

枚方市空家等対策計画の策定に向けて、枚方市空家等対策協議会より計画案について答申を受け、また、計画案に関するパブリックコメントを実施した。三世代家族・定住促進事業について 29 件の助成を行い、さらに住宅金融支援機構との協定を締結することで事業の促進を図り、マイホーム借上げ制度については、制度説明会および個別相談会を各 1 回開催した。

## (2) (仮称) 枚方市総合文化芸術センターの整備や公共建築物の整備・保全

目標	平成 32 年度の完成をめざして (仮称) 枚方市総合文化芸術センターの整備に取り組むとともに、その他計画的な公共施設の整備・保全に取り組みます。 ～ (仮称) 枚方市総合文化芸術センターの整備のイメージ～ 
----	--

取 組 み	<p>本市の中心市街地である枚方市駅周辺の再整備として、文化芸術の拠点施設となる(仮称)枚方市総合文化芸術センターの平成32年度完成に向け、実施設計や工事に必要な諸手続きを進めます。</p> <p>また、枚方保育所の建替えについては年内の完成をめざすとともに、香里ヶ丘図書館の建替えは、プロポーザル方式により設計事業者を選定のうえ、隣接する香里ヶ丘中央公園の再整備と一体的な設計に着手します。さらに、新児童発達支援センターの整備に向け設計を完了し、引き続き、建築工事に着手します。</p> <p>市有建築物の維持保全については、市有建築物保全計画の「第Ⅱ期実施計画」に基づき財政負担の平準化を図りながら、計画的な改修・更新工事を進めます。</p>
	<p>平成29年度当初予算：166,288千円【(仮称)枚方市総合文化芸術センター整備関連】、1,636,093千円【公共建築物の整備・保全関連】</p>

9月 末の 進捗 状況 【○】	<p>(仮称)枚方市総合文化芸術センターについては、平成30年度の工事着手に向け、実施設計と並行し整備に必要な手続きを進めている状況である。</p> <p>枚方保育所の建替えについては、年内の完成をめざし順調に工事を進めている。また、香里ヶ丘図書館の建替えについては、プロポーザル方式で選定された設計事業者と契約締結し、隣接する香里ヶ丘中央公園と一体的な整備をめざし設計に着手した。さらに、新児童発達支援センターは設計が完了し、今年度末の工事着手に向け、入札手続きを進めている。</p> <p>また、市有建築物の維持保全については、当該計画に基づき今年度の予定工事に順次着工(26件)するとともに、次年度の工事に向けた設計業務にも着手している。</p>
-----------------------------	--

(3) 京阪本線連続立体交差事業と新たなまちづくり	
目 標	<p>枚方公園駅付近から香里園駅付近(寝屋川市)までの延長約5.5キロメートル(うち枚方市域約3.4キロメートル)の鉄道高架の完成目標を平成40年度とし、平成31年度から工事に着手できるよう事業用地の取得に取り組んでいきます。あわせて、光善寺駅周辺については(仮称)光善寺駅西地区市街地再開発準備組合とともに市街地再開発事業による新たなまちづくりを進めます。</p>
	<p>～高架後の光善寺駅前広場のイメージ～</p> 

取り 組み	できる限り早期に鉄道高架の工事に着手できるよう、計画的かつ効率的に事業用地の取得を進めます。また、駅前にふさわしいまちづくりを進めるため、(仮称)光善寺駅西地区市街地再開発準備組合の活動に対する技術的支援を行うとともに、都市再開発の方針や用途地域など関連する都市計画の変更を行います。
	平成 29 年度当初予算：3,772,201 千円

9 月末の 進捗状況 【〇】	<p>今年度の事業用地の取得については、大阪府からの配当額による取得予定面積の 47%にあたる約 2,430 m<sup>2</sup>を取得している。</p> <p>また、光善寺駅周辺に関しては市街地再開発事業によるまちづくりを進めるため、市街地再開発準備組合に対し技術的支援を行うとともに、都市再開発の方針や第一種市街地再開発事業、その他用途地域などの関連する都市計画の決定・変更に向けた説明会等を行った。</p>
----------------------	---

<b>(4) 木造住宅の耐震化の促進</b>	
目標	木造住宅の耐震化を促進し、大地震時の被害軽減に努めます。
取り 組み	簡易改修や部分改修を対象とした、新たな耐震補助制度の周知・活用を図ります。旧耐震基準により建てられた木造住宅が集積する地区においては、重点的に啓発等の取り組みを行います。
平成 29 年度当初予算：62,875 千円	

9 月末の 進捗状況 【〇】	<p>4 月より、簡易・部分改修を対象に加えた補助制度の周知・運用を進めている(9 月末の交付決定戸数は、診断 60 戸、設計 36 戸、改修 36 戸。当初予算に対する執行率は 55%)。また、6 月に旧耐震木造住宅の集積する地区(新之栄町)で、自治会等と連携し重点的な耐震化の啓発を行った。</p>
----------------------	---